

## 第72回大田区子どもガーデンパーティ 洗足池会場からの報告

コロナ禍で4年振りの開催。

どのような内容で行うか議論を重ねました。あまり制限をしても、子どもたちに楽しんでもらえないのではという意見が多く、食事については提供しなくて、その他は、以前と同様の内容でいこうと決めました。桜山でのアスレチックや物作り体験、洗足池クラウンドでの各団体の催し、ジュニアリーダー達による遊びなど多くの企画を予定し、3月から実行委員会を開催、雪谷からは石垣晴子会長を先頭に実行委員が選出され役割分担もされました。アスレチックの点検や、看板準備、事務手続の準備、プログラム、安全・会場等各担当の打合せも進めました。

最後の準備委員会の時、当日の天気が悪い予報でしたが、皆の心は是非開催したいという思いで満ちていました。前日準備の開始時間を遅らせて明日の開催決定を待ちましたが、大田区では中止の決定がなされ、皆残念としか言えませんでした。前日は中止の看板設置等を行い、当日はそれぞれの片付けや実行委員や各団体への弁当の配布などを行いました。片付けているところに、子どもが「ガーデンは中止ですか？」と残念そうにしていますが、「来年を楽しみにしてね!」としか言えませんでした。私たちも来年こそはと思うばかりです。皆の協力で開催していきたいと考えております。

(池の台青少年部・月居 利久)



### 雪谷地区の表彰者

#### ○令和5年度大田区交通安全功労者感謝状贈呈

東雪自治会(団体)

新田 武男 青山 稔(個人)

#### ○令和5年度自治会役員永年在職者感謝状贈呈

梅崎 潤	村越 孝雄	内田 智明
羽田 啓次郎	新田 武男	河野 洋一郎
松本 佐枝子	八鳥 瑠美	小山 智恵子
國府方 清隆	友清 直樹	井上 ゆかり
藤井 豊子	森井 恵美子	石垣 晴子
須網 俊一	田島 道治	小山 憲生
海老澤 廣佳	綱嶋 正子	近藤 健
安達 敏則	梶川 由紀夫	上野 鶴江

## 着任のご挨拶

日頃よりふれあい雪谷をご愛読頂き誠にありがとうございます。今年度、雪谷特別出張所長に着任致しました真鍋雄一です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

ふれあい雪谷は、地域力推進雪谷地区委員会が発行する雪谷地区の情報紙として平成2年12月に創刊され、年4回(4月:さくら号、7月:あさがお号、10月:もみじ号、1月:新年号)発行しています。雪谷地区に関することや地域の皆様の日々の出来事を掲載することで、雪谷地区の情報や魅力を発信しております。雪谷地区の各自治会、区施設等への配布に加え、大田区ホームページにも掲載しておりますので、地域の皆様には是非ご一読頂きたいと考えております。

昨年度は残念ながらコロナ禍ということもあり、地域活動を十分に実施できなかったと思います。今年度に関しましては未だ予断を許さない状況ですが、ふれあい雪谷を通じて地域貢献に努めてまいりたいと考えております。

地域の皆様にはお手数おかけする場面もあるかと思いますが、新たな体制で、より良い出張所運営に取り組んでいきます。また、前所長から引き続き、地域の皆様の力となるべく全力を尽くして参りますのでよろしくお願いいたします。

(雪谷特別出張所長・真鍋 雄一)

### \*\* 編集後記 \*\*

「最大9連休」になった今年のゴールデンウィーク、観光地には、沢山の人が繰り出し、各地では伝統行事も開催されて、コロナ禍前に見た光景が戻ってきました。

気になるのが近年の異常な気象状況です。5月には初夏なのに、北海道・東北地方では、異例の積雪に白銀の空を泳ぐ鯉のぼりが寒そうでした。

「第72回大田区子どもガーデンパーティ」の開催も雨天のため中止になり、とても残念に思います。来年は「皆さんの思いが届きますように」と願うばかりです。

本号をもちまして、後任の手塚真利子さんにバトンタッチさせていただきました。編集会議に臨むにあたっては、毎回緊張しましたが、委員の皆さんの顔を見ると笑顔になりました。

お世話になった編集委員の皆様・ご寄稿いただきました皆様には厚くお礼を申し上げます。

(雪谷石川台・倉田 清子)

#### [編集委員]

笹丸・小林 忠雄/雪谷石川台・倉田 清子 手塚 真利子/南雪谷・河野 洋一郎/東雪谷東中・小山 智恵子/池の台・柏 三八子/小池・小山 憲生/上池上・船山 康夫

ふれあい雪谷(創刊・平成2年12月20日) 年4回発行

(1月:新年号/4月:さくら号/7月:あさがお号/10月:もみじ号/の1日発行)

[発行日] 令和5年 あさがお号 7月1日(通巻・第131号) 発行

[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集]ふれあい雪谷編集委員会

[連絡先] 大田区地域力推進部雪谷特別出張所

〒145-0065大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

# ふれあい 雪谷

令和5年7月 あさがお号 通巻第131号

雪谷特別出張所管内(令和5年4月1日現在)

世帯数/31,108世帯(前年比51世帯増) 総人口/61,451人

男/29,490人・女/31,961人



小池夏景色

四方の急な坂を下った住宅街の中にある公園です。以前は「釣り堀」として活用されていた時期もありましたが、整備が進み自然豊かな公園になりました。小池・今成 修さんの作品

「ふれあい雪谷」のホームページはこちらからご覧いただけます。



## 東京のおばあちゃん

こんにちは、セナ・バロンと申します。19歳です。イギリスの東の端にあるノーリッチというところの小さな田舎町から来て、東京に住んで8か月になります。

私の父はイギリス人ですが母は日本人で、東京にはおばあちゃんがいます。そのため、私は小さい頃から何度も日本を訪れる機会に恵まれ、心にはこの国に対する強い思いが育まれてきました。最後に家族とともに訪れたのは2017年夏で、富士山に登ったり、京都の金閣寺にいったり、そのほか新幹線で日本中を旅しました。この国は、世界から隔絶された小さな宇宙のように思えます。自然は美しく、食べ物とはとてもユニークで、どこへ行っても生命にあふれています。

東京のおばあちゃんは、ずっと前から自治会の役員をしています。友達が近所にたくさんいて、おばあちゃんの家によく集まります。私も時々はその輪に加えてもらいます。皆さんは私よりずっと年上ですがとても親しく接してくれ、話の中から日々の生活に必要ないろいろな知識を学ぶことができます。

私は、今はおばあちゃんの家での居候ですが、横浜にある母の知人の店(ファッション関係)でアルバイトもしています。店長さんからは信頼していただき、多くの仕事を任されています。そのため、お客様と接することが多く、日本語を練習する良い機会になっています。お客様からも「日本語が上手ですね」と言われます。私は、皆さんの温かい心遣いが感じられるアルバイトを楽しんでいます。

東京に住んで得たこれらの経験は、私のこの国に対する思いを一層強め、将来に向けての重要な決心をする勇気を与えてくれました。私は、アーティスト/ファッションデザイナーを目指して懸命に取り組んでいます。その拠点を日本に置こうと思えます。

母が日本人で、おばあちゃんが東京にいて、私が今そこに住んでいるという、その大きなチャンスは私は両手でつかみました。後悔することはきっとないと思います。

(南雪谷・セナ バロン)



(おばあちゃんとセナ バロンさん)

## 小池駐在所 リニューアルしました

小池駐在所は、昭和6年5月28日、地域住民の協力により大森警察署内に新設され、昭和10年10月10日、東調布警察署(現・田園調布警察署)新設に伴い、大森警察署から東調布警察署に引き継がれました。その後昭和55年2月8日、一度目の建て直しを経て、令和5年4月12日、二度目の建て直しが行われ、同年4月25日から事務を開始しました。

小池駐在所は、約4000世帯(上池台4丁目を中心にその周辺地域)を受け持ち、管内は、その多くが住宅地で、環七通りや学研通りもありますが、田園調布警察署管内でも比較的治安の良い地域です。また、自治会活動等が活発に行われ、静かな中にも活気がある地域だと感じています。最近の駐在所管内の交通事故(6ヶ月)は23件、事件等(1年)は20件(窃盗6件、特殊詐欺5件)でした。この数字を見て、それぞれ感じ方が違うと思います。警察官としての感覚では、都内の他地域と比べて少ないと感じていますが、特殊詐欺は多く発生しており注意しておきたい点です。

ニュースなどで流れる事件を心配される方が多くいらっしゃいますが、生涯で一番関わる可能性の高いのは、交通事故です。ニュースで流れることはほぼ無く、当事者や目撃者以外知りうることはありませんが、皆さんのご自宅付近で起きています。事故の多くは、ほんのちょっとした油断、気の緩みが原因で、「ここで止まって確認していれば」「あの時よそ見をしなければ」「よく後ろを見ていれば」「つい考え事をしていて」等些細なものです。急いでいる時、忙しい時ほど、心は冷静に目的地に向かってもらいたいものです。

小池駐在所は、発足以来、地域住民の方々の協力を得ながら、地域の一部として歩んで参りました。私も勤務員に任命され8年以上が経ち、警察官として、自治会員として様々なことを経験し成長させて頂きました。地域住民の方々への感謝の気持ちを胸に、この地域に根差して活動をして参ります。今後も警察活動へのご理解とご協力、ご指導、ご鞭撻を頂ければ幸いです。

(田園調布警察署小池駐在所・阿部 喬)



## 自治会1ルー記事：東雪谷東中自治会 いろいろやっています、東雪谷東中自治会

満開となった東京の桜が少し寒そうにも見えた3月26日、東雪谷東中自治会では「東中Day!～みんなde街コン～」と題した自治会員の懇親イベントを開催しました。当日は、雪谷小おやじの会のほか、多くの有志の方々にもご協力頂き、輪投げコーナーや紙飛行機大会、アコーディオン演奏にバルーンアート、キャンディーレイ、デコケースやネイルアート、地ビールの利き酒やご当地クイズなど、盛りだくさんの企画を提供することが出来ました。当日はあいにくの雨模様でしたが、会場となった雪谷特別出張所3階には、大人から子どもまで100人を超える自治会員の方にご参加頂き、大盛況の1日とする事が出来ました。

「東中Day!」をはじめ、当自治会では、2023年は当初より新しい企画を加えながら対面での行事を再開いたしております。

「東中Day!」に先立つこと約2か月、2月5日には例年とは趣向を変えた「新年交流会」を開催いたしました。今年から「自治会員の社交の場」として、自治会員の方々、自治会が日頃からお世話になっている方々、役員や各部メンバーを交え、「自治会のご紹介」に加え「東中クイズ」等、出席者が参加できる企画などをご用意させて頂き、これまでにない形での歓談の場、交流の席をご提供出来たのではないかと思います。

さらには先日行われました組長会では、新旧組長様を交えての意見交換会や交流会など、自治会本来の目的である『会員相互の協力により親睦と福祉の向上をはかり、(中略)豊かな住み良い環境の継続及び形成』に資することを目的に「人と人が繋がる」活動をこれからも推し進めていきたいと考えております。無理のない範囲で活動にご参加頂き「明るく、住み良い、温かい」東中の街の実現にご協力頂ければ幸いです。

(東雪谷東中・三輪 敏之)

